ROOFTOP GREENING / RENOVATION

屋上緑化革命®

その屋上緑化、全部撤去する前に。

既存緑化を活かす 屋上緑化カバー工法®｜常緑キリンソウ袋方式®

撤去・運搬・処分の負担を抑え、環境にも配慮する改修方法

BEFORE



枯死・雑草化した既存緑化

AFTER



常緑キリンソウ袋方式®で再生

施工事例：東京都中央卸売市場 豊洲市場｜Green Reborn Project　（施工前2024年11月／施工後2026年4月）

既存緑化基盤をそのまま活用できる場合があります。

現況確認後、必要な雑草処理と防草シートの敷設を行い、常緑キリンソウ袋方式®を設置します。

01 COST

撤去費用を抑える

既存緑化を全面撤去せずに済む現場では、撤去・運搬・処分費用の削減が期待できます。

02 ECO

廃棄物を減らす

既存緑化基盤を有効活用し、撤去に伴う産業廃棄物の発生を抑えます。

さらに 雑草・維持管理にも配慮

防草シートと袋方式を組み合わせ、雑草の侵入・土壌流出を抑える構造です。

※適用には現場条件の確認が必要です。

既存緑化・防水・排水・積載荷重などによって、部分撤去や全面撤去が必要な場合もあります。費用・廃棄物の削減効果は現場条件により異なります。

マンガ・動画で、屋上緑化の失敗と改修方法をわかりやすく解説

https://kirinsou-cover.com/　袋構造：特許第4911418号　常緑キリンソウ「トットリフジタ1号」（品種登録第15866号）

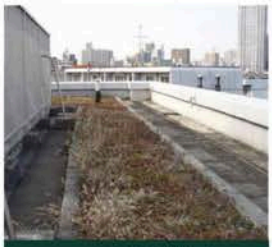
株式会社緑化計画研究所 ｜ 屋上緑化カバー工法® 登録商標第6902781号 ｜ 屋上緑化革命® 登録商標第6610420号

施工の進め方と適用条件

改修方法は、既存緑化の状態・建物条件を確認して決定します。

屋上緑化カバー工法®
常緑キリンソウ袋方式®

基本的な施工の流れ



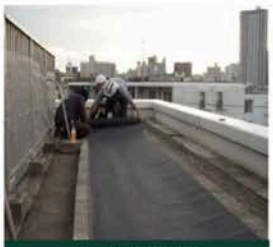
01 現況確認

既存緑化の状況を調査



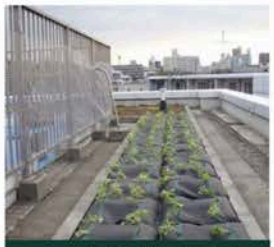
02 雑草処理

必要な除草・下地調整



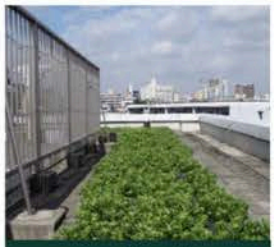
03 防草対策

防草シートの敷設



04 袋方式の設置

常緑キリンソウを配置



05 施工後

緑化の生育状況を確認

※写真は施工事例です。必要な作業や工程は現場条件によって異なります。

採用前に確認する6つの項目

01 既存緑化

植物の枯れ・雑草・土壌の状態、既存資材の劣化や凹凸を確認します。

02 積載荷重

既存緑化と新設資材の含水時重量を含め、建物の荷重条件を確認します。

03 防水・排水

防水層の状態、雨漏りの有無、排水口や滞水の状況を確認します。

04 風・勾配

屋上の高さ・端部・隅角部・勾配に応じて飛散や滑動への対策を検討します。

05 見切り・納まり

設備や立上りとの取り合い、排水経路、端部処理を確認します。

06 搬入・安全

荷揚げ方法、工事中の動線、利用者への安全対策を検討します。

重要：防水補修と屋上緑化の改修は別の工事です。

雨漏りや防水層の劣化が疑われる場合は、防水の点検・補修を優先します。排水不良や荷重条件の制約がある場合は、カバー工法を採用できないことがあります。

まずは、現況写真・面積・図面からご相談ください。

建物所在地、既存緑化の状態、設置年数、管理状況をお知らせいただくと、改修方法や確認事項を検討しやすくなります。

https://kirinsou-cover.com/　TEL 045-326-6587　株式会社緑化計画研究所